

取り扱い説明書

お施主様用保存版

インテリア編



保存版

- 商品のご使用前にこの説明書をよくお読みください。
- いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

販売店様・工務店様・建設会社様へのお願い
この取り扱い説明書は、施工後、お施主様へお渡しください。

はじめに

このたびは、新日軽の商品をご採用いただき、まことにありがとうございます。

本書は、商品をながく安全にお使いいただくための、主なご注意・お願い、および商品の調整・お手入れ方法などをまとめたものです。

本書をよくお読みいただいた上で、商品をご使用いただきますようお願いいたします。

なお、電動商品などの特別な機能を有している商品や特有な操作方法がある商品については、別途、個別の取り扱い説明書がありますので、併せてご覧ください。

目 次

安全にお使いいただくために……3・4

商品の種類 ……………5・6

商品別使用上のご注意・調整方法

室内ドア 7～10

●室内ドア ……………7～9

●中折れドア ……………10

室内引戸 11～14

●室内引戸(Vルール仕様) ……………11・12

●室内引戸(上吊り仕様・アウトセット仕様) ……………13・14

クローゼット 15～17

●クローゼット折戸(ルール仕様) ……………15

●クローゼット折戸(ノンルール仕様) ……………16

●クローゼット開き戸 ……………17

お手入れ方法 ……………21・22

修理の依頼 ……………23

商品保証について ……………24

お客様メモ ……………25

可動間仕切 18

玄関収納 19

開き窓 20

●開き窓 室内アクセント ……………20

安全にお使いいただくために

- 商品の取り扱いについては、人身事故や財産の損害を未然に防止するため、次のような警告表示をしております。よく内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。
- 商品によっては、取り扱いとメンテナンスに関するラベルを貼付しておりますので、このパンフレットと合わせてご確認ください。
- 木質建具は木を加工して作られていますので、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は木質建具両面の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、木質建具の室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

例えば、暖房のよく効いた室内と暖房されていない廊下の間に設けられた木質建具は「反り」が発生し易くなり、その結果、建具の間のすき間が大きくなったり、建具が閉まり難くなったりすることがあります。

工業的に生産される木質建具は上記のような特性を考慮しながら、開閉、施錠等の使用に支障の無い範囲で「反り」に対する一定の基準を設けております。又、生産時には品質管理と検査を実施して出荷しております。

しかし、木質建具は使用しているうちに、「反り」が発生し、開閉、施錠等に支障をきたす場合がありますが、これらに対しては丁番、戸車等の調整により対処できることがありますので、本書商品別使用上のご注意・調整方法をご参照ください。又、「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことを心がけてください。

 - ①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、木質建具に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
 - ②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、木質建具両面の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
 - ③木質建具に直射日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。
- 扉に粘着テープでポスターなどを貼らないでください。表面が傷むおそれがあります。
- 本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材質の特性により表面がふくれたり、しみ、変色などが発生するおそれがあります。

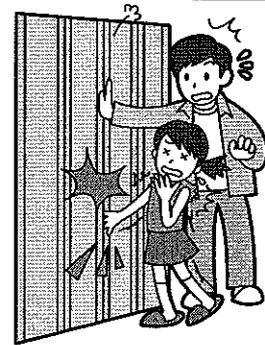
お願い

室内ドア・室内引戸

- 扉の開閉にあたっては、丁番側のすき間に手を置かないでください。指をはさんでけがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 扉の開閉にあたっては、必ずハンドル(引手)を持って操作してください。ハンドル(引手)から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 扉を開け放した状態にするときは、ドアストッパーなどをお使いください。強い風などで、勢いよく閉まることもあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで思わぬけがをするおそれがあります。

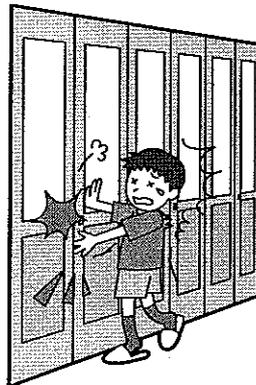
クローゼット

- [折戸]開閉にあたっては、扉どうしのすき間や扉と枠のすき間に手を置かないでください。指をはさんでけがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- [開き戸]扉の開閉にあたっては、必ず把手・引手を持って操作してください。把手・引手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。



可動間仕切

- 開閉にあたっては、扉どうしのすき間や扉と枠のすき間に手を置かないでください。指をはさんでけがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。



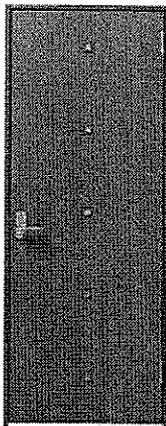
収納

- 棚受けは確実に奥まで差し込んでください。差し込みが不十分な場合、棚板および収納物が落下するおそれがあります。
- 本体にトイレ洗浄液、尿石溶解剤、殺虫剤、抗菌剤、消臭、芳香剤などが付着した場合、表面が変色するおそれがありますので、すぐに柔らかい布などで拭き取ってください。

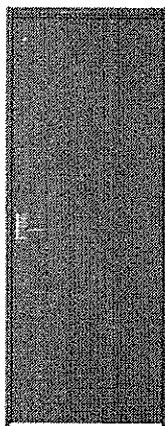
商品の種類

室内ドア

● ドア

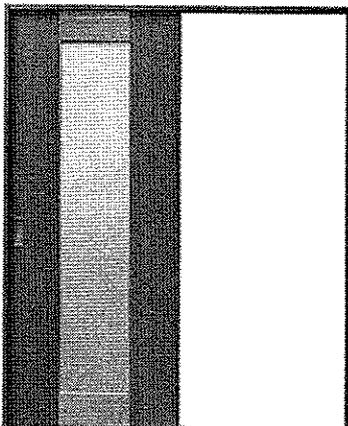


● 中折れドア



室内引戸

● 引戸



クローゼット

● 折戸

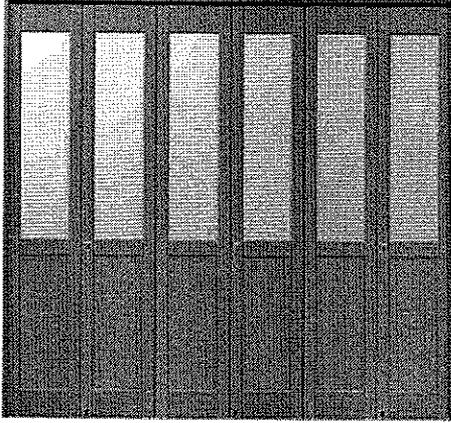


● 開き戸



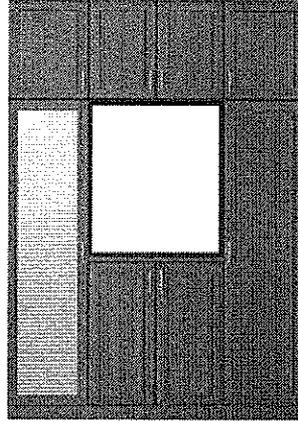
可動間仕切

●可動間仕切



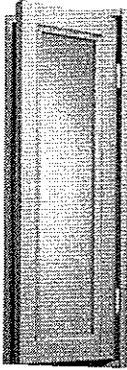
玄関収納

●玄関収納



開き窓

●開き窓

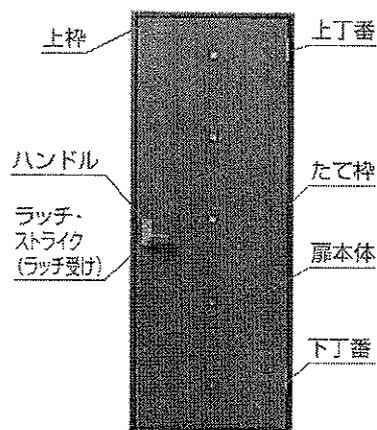


室内アクセント

商品別使用上のご注意・調整方法

室内ドア

各部の名称

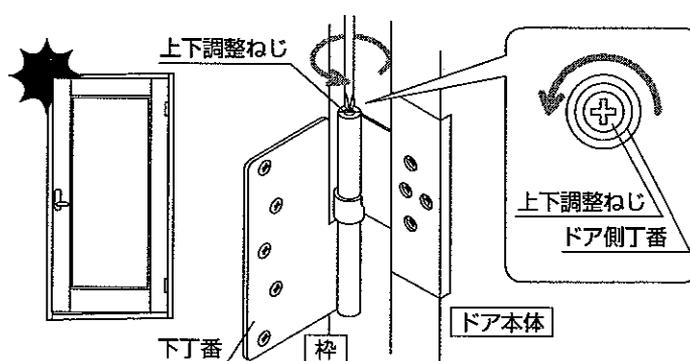


扉本体の建て付け調整

■丁番の調整方法: 上下±2mm、左右±2mm、前後±2mm

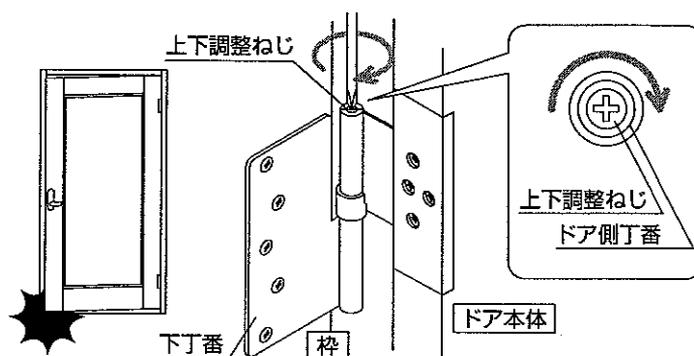
ドアの上部が枠に当たる

- ドアを下げてください。
下丁番のキャップを取り、下丁番の上下調節ねじを左に回してください。調整後キャップを取り付けてください。



ドアの下部が枠に当たる

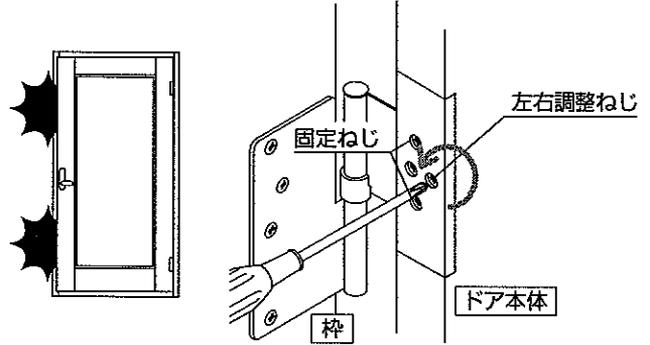
- ドアを上げてください。
下丁番のキャップを取り、下丁番の上下調節ねじを右に回してください。調整後キャップを取り付けてください。



建て付け調整は必ず手まわしドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。

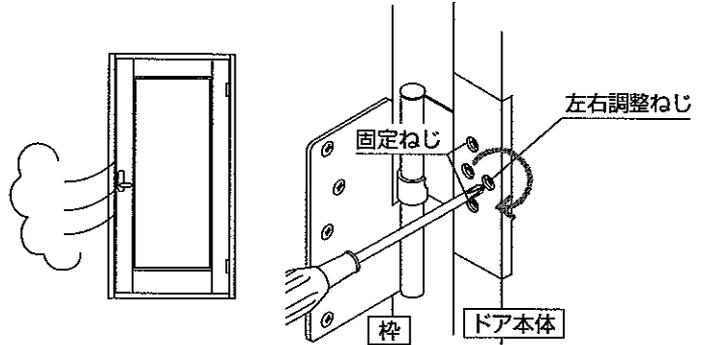
ドアの開き側が枠に当たる

- ドアを吊元側に移動してください。
固定ねじ(2ヶ所)を1回転だけゆるめ、左右調整ねじを左に回して、ドアを吊元側に移動させてください。調整が終わりましたら、固定ねじを締めてください。



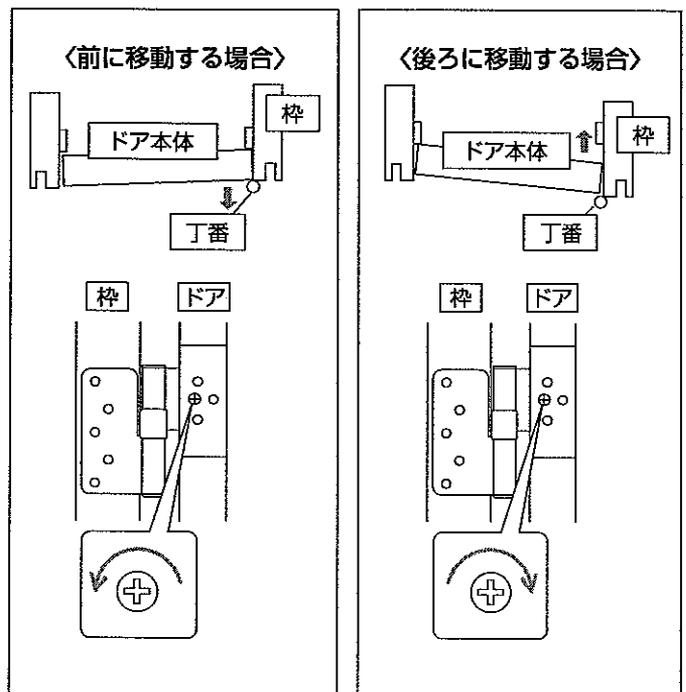
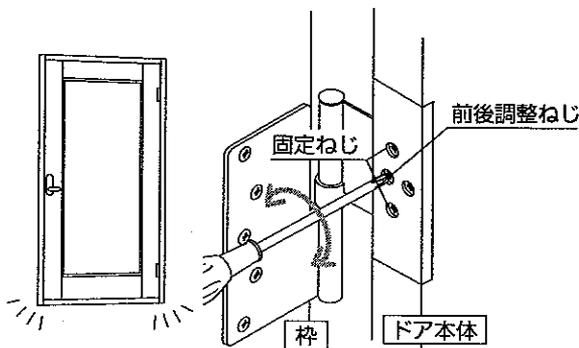
ドアの開き側の隙間が大きすぎる

- ドアを開き側に調整してください。
固定ねじ(2ヶ所)を1回転だけゆるめ、左右調整ねじを右に回して、ドアを開き側に移動させてください。調整が終わりましたら、固定ねじを締めてください。



左右たて枠がねじれている

- ドアを前後に調整してください。
固定ねじ(2ヶ所)を1回転だけゆるめてください。ドアに手を添えながら前後調整ねじを回して、ドアを必要な分量だけ前(または後ろ)へ移動させてください。位置が決まったら、固定ねじを締めてください。



商品別使用上のご注意・調整方法

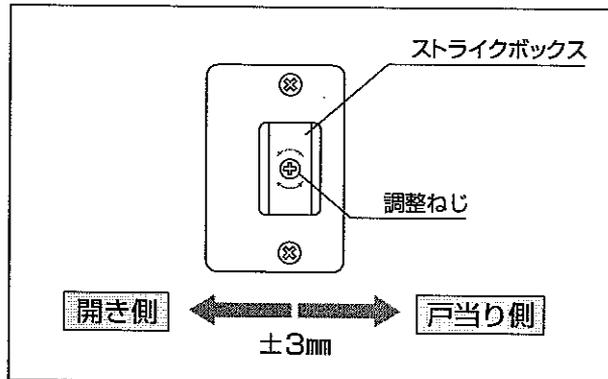
室内ドア

ストライク(ラッチ受け)の調整

ドアのラッチ部分に「ガタつき」がある場合

●調整ねじにてストライクボックスの位置を調整してください。

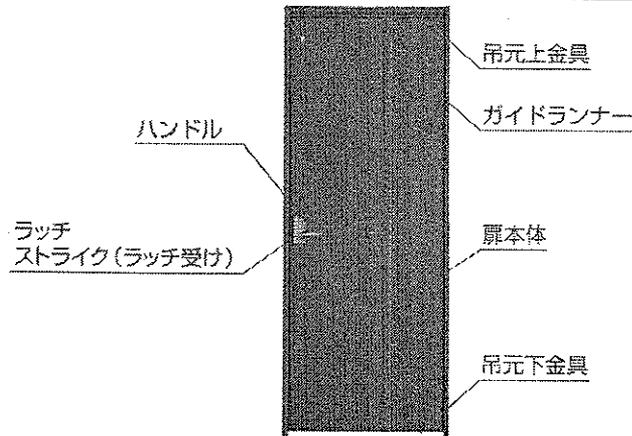
■ストライク(ラッチ受け)の調整:±3mm



建て付け調整は必ず手まわしドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。

中折れドア

各部の名称



扉本体の建て付け調整

扉本体の開閉がスムーズに行なえない場合

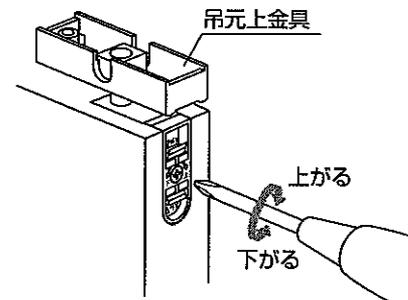
- 扉本体の吊元上金具・吊元下金具およびガイドランナーの上下方向の調整ねじをまわして調整してください。

■吊元上金具の上下調整

プラスドライバーで小口面より見える調整ねじをまわして調整してください。

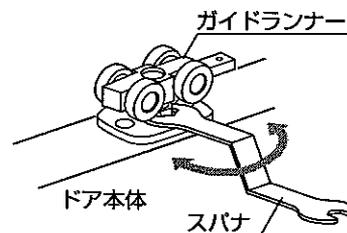
- ・扉本体を上げたい場合
…右にまわす。(時計まわり)
- ・扉本体を下げたい場合
…左にまわす。(反時計まわり)

※床面と扉本体下部のすき間は9mmが標準です。また、吊元金具の機能上、床面と扉本体下部のすき間は8mmより小さくなりません。



■ガイドランナーの上下調整

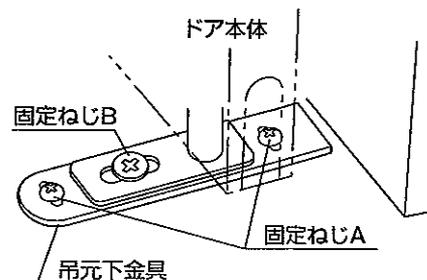
専用(付属)のスパナにて、上下調整ナットをまわしながら調整してください。



■吊元下金具の調整

- ・固定ねじAを緩めると見込み方向へ前へ3mm、後へ3mm調整が可能です。
- ・固定ねじBを緩めると戸先側へ8mm、戸尻側へ2mm調整が可能です。

※調整が完了しましたら必ずねじを固定してください。

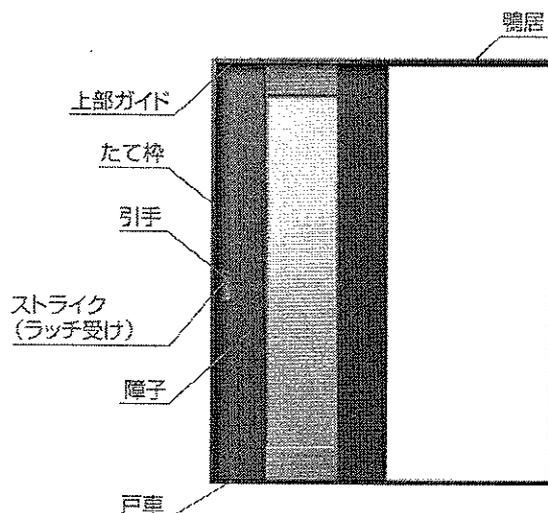


- ストライク(ラッチ受け)の調整方法については、(P.9)をご参照ください。

商品別使用上のご注意・調整方法

室内引戸 (Vレール仕様)

各部の名称



障子の建て付け調整

障子の開閉がスムーズに行なえない場合

■戸車の調整: 上下±3mm、前後±2mm

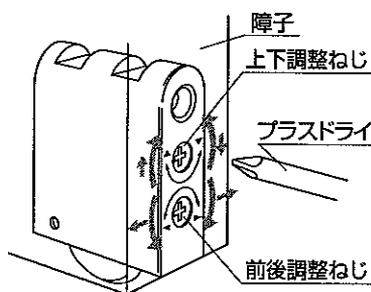
●戸車の上下調整ねじ・前後調整ねじをまわし障子を調整してください。

<上下調整/上下調整ねじ>

- ・障子を下げたい場合
…右にまわす。(時計まわり)
- ・障子を上げたい場合
…左にまわす。(反時計まわり)

<前後調整/前後調整ねじ>

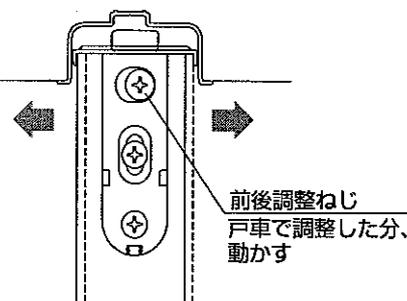
- ・障子を右に移動したい場合
…右にまわす。(時計まわり)
- ・障子を左に移動したい場合
…左にまわす。(反時計まわり)



■上部ガイドの調整: 前後±1mm

●上部ガイドを前後し障子を調整してください。

- ①調整部品の上側のねじをゆるめ、ガイドを前後に調整してください。
- ②調整後、ねじをしめてください。



建て付け調整は必ず手まわしドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。

ストライク(ラッチ受け)の調整

障子(引戸錠付)のラッチ部分に「ガタつき」がある場合

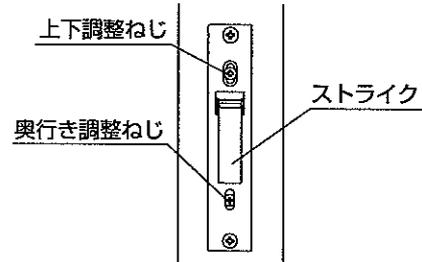
■ストライクの調整:上下±3mm、後3mm

●上下調整

上下調整ねじを1回転ゆるめ、引戸錠のかかりを調整した後調整ねじを締めて固定してください。

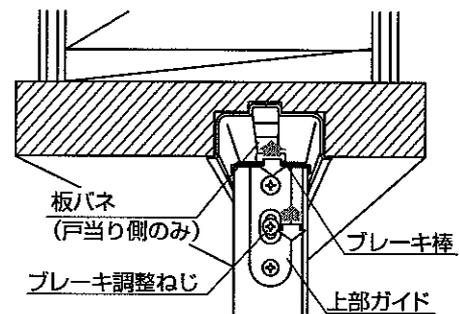
●奥行き調整

施錠時にガタがなくなるまで奥行き調整ねじを締めてください。



障子ブレーキの調整

ブレーキ調整ねじを1回転ゆるめ上下させ、ブレーキの効きを調整した後、ブレーキ調整ねじを締めて固定してください。

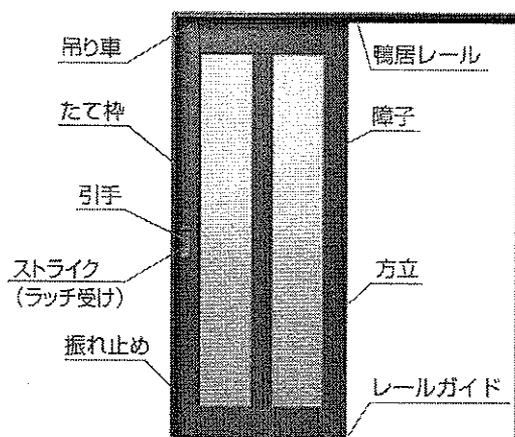


商品別使用上のご注意・調整方法

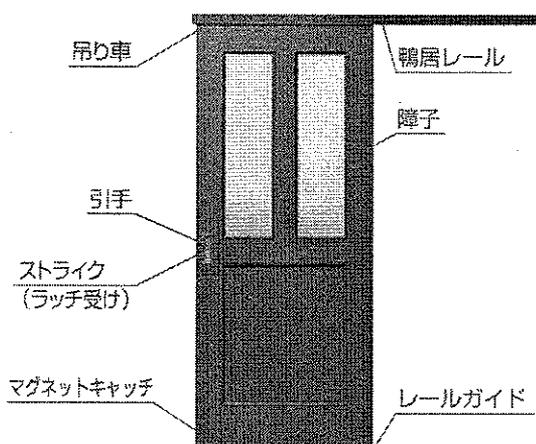
室内引戸 (上吊り仕様・アウトセット仕様)

各部の名称

■上吊り仕様



■アウトセット仕様



障子の建て付け調整

障子の開閉が重い/するような音がする場合

上吊り仕様・アウトセット仕様

■上下調整

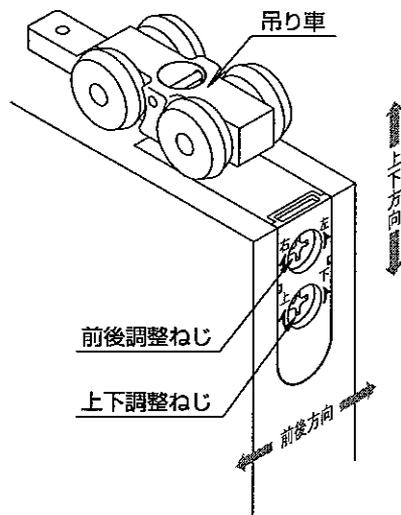
●吊り車の調整 (上下 ±2.5mm)

上下調整ねじを右に回すと障子が上がります、左へ回すと下がります。
※障子を下げすぎるとレールガイド部と障子が当たりますので下げすぎないでください。

■前後調整

●吊り車の調整 (前後 ±2mm)

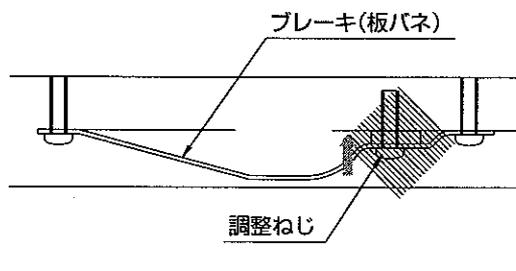
前後調整ねじを右に回すと左に動き、左に回すと右に動きます。
※前後調整した場合は、障子が常に垂直になるようにレールガイドの調整をしてください。調整しないと開閉操作が重くなる場合があります。



上吊り仕様・アウトセット仕様

■障子ブレーキの調整

調整ねじを締めてください。ブレーキの利きが弱くなります。
※ブレーキは鴨居レール内の戸先側にあります。



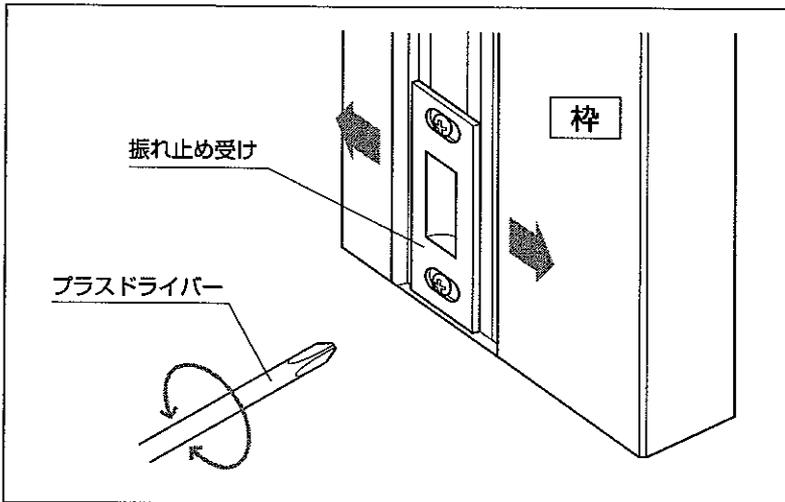
建て付け調整は必ず手まわしドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。

障子に「ガタつき」がある場合

上吊り仕様

■振れ止めの調整:前後±3mm

振れ止め受けの上下2ヶ所のねじをゆるめ、振れ止め受けを平行に動かした後、ねじをしめて固定します。

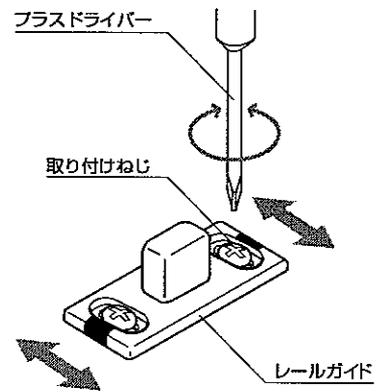


障子がブレる場合

上吊り仕様・アウトセット仕様

■レールガイドの調整:前後±2mm

障子の前後調整後、レールガイドの取り付けねじをゆるめ障子と同様に前後にずらし、ねじをしめて固定してください。

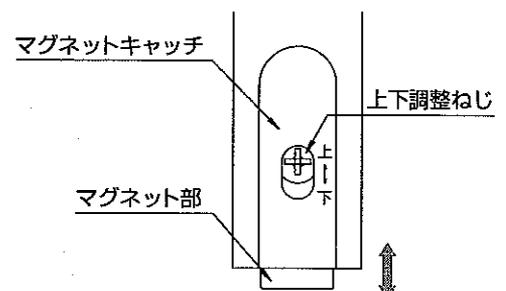


アウトセット仕様

●マグネットキャッチの調整

上下調整ねじをゆるめ、適切な位置にずらした後、ねじを締めて固定してください。

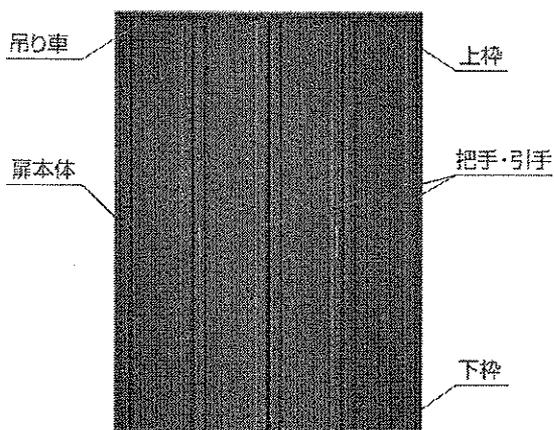
※上下調整した場合は、障子下部のマグネットキャッチを調整してください。



商品別使用上のご注意・調整方法

クローゼット折戸 (レール仕様)

各部の名称



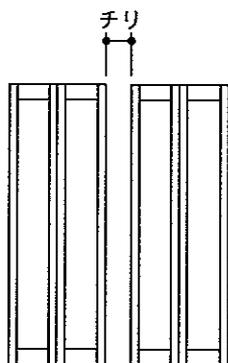
扉本体の建て付け調整

■すき間調整: 上2mm 下5mm

扉間のすき間が合っていない場合

●左右のすき間調整

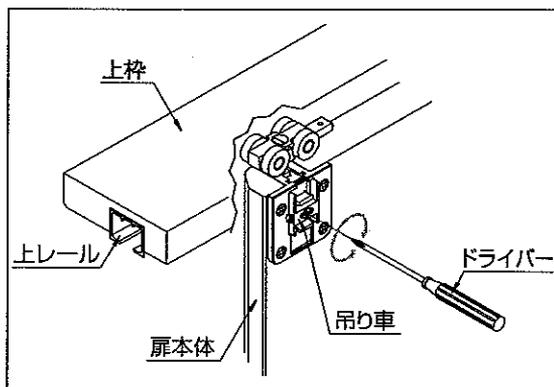
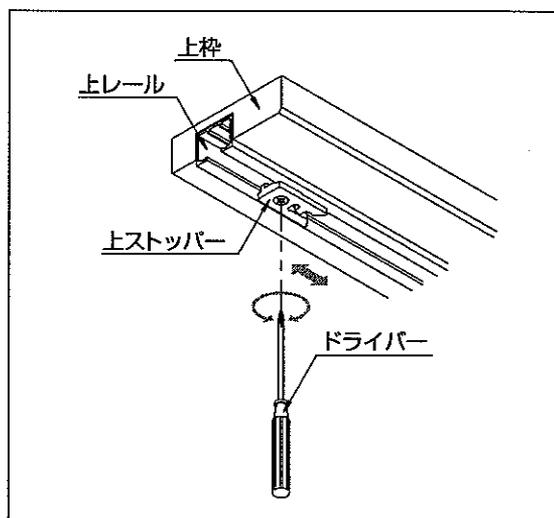
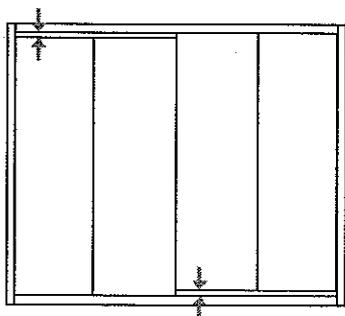
上下のストッパーをゆるめて左右のチリ調整をしてください。



※チリ調整後部品のねじは
しっかりしめてください。
扉脱落のおそれがあります。

●上下のすき間調整

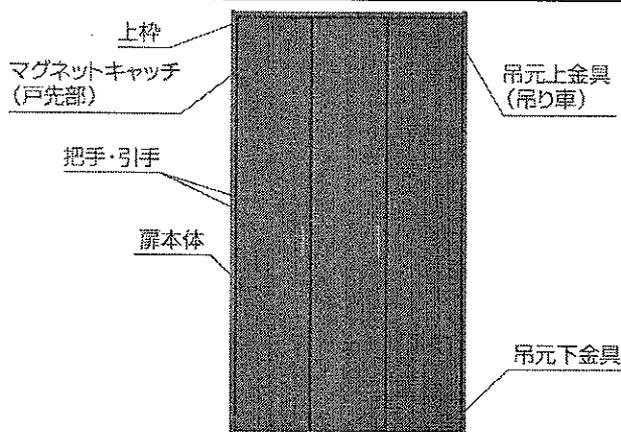
上下のすき間が合っていない場合は、吊り車の上下調整ねじを回して調整してください。



建て付け調整は必ず手まわしドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。

クローゼット折戸 (ノンレール仕様)

各部の名称



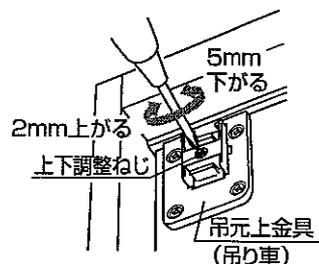
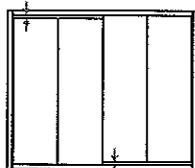
扉本体の建て付け調整

扉間のすき間が合っていない場合

■上下すき間調整

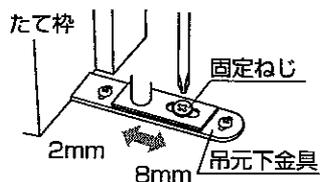
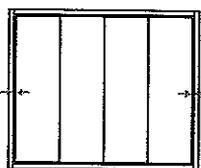
上下のすき間が合っていない場合は、吊元上金具・吊り車の上下調整ねじをまわして、上下のすき間寸法を調整してください。

- ・扉を上げる場合…右にまわす。(時計まわり)
- ・扉を下げる場合…左にまわす。(反時計まわり)



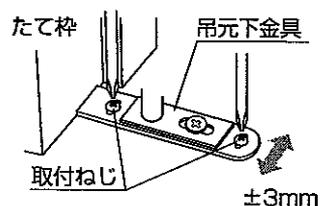
■左右すき間調整

左右のすき間が合っていない場合は、吊元下金具の固定ねじをゆるめ、左右のすき間を調整してください。



■前後出入り寸法調整

前後の出入り寸法が合っていない場合は、吊元下金具の取り付けねじをゆるめ、前後の出入りを調整してください。
※調整後、取り付けねじをしっかりと締め込んでください。

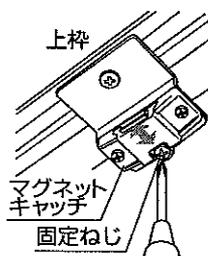


折戸+開き戸の戸先上部が合わない場合

■戸先出入り寸法調整

折戸・開き戸の戸先上部が合わない場合は、戸先上部のマグネットキャッチの固定ねじをゆるめ、戸先の出入り寸法を調整してください。

※調整後、固定ねじをしっかりと締め込んでください。

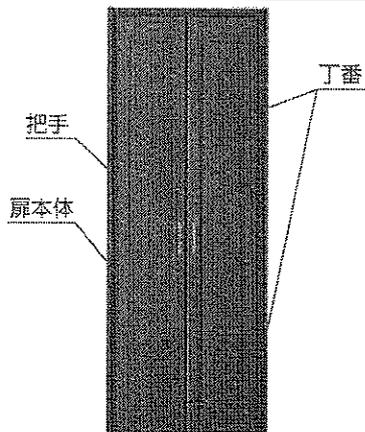


調整範囲 (マグネット出寸法)
1.5mm~4.5mm

商品別使用上のご注意・調整方法

クローゼット開き戸

各部の名称

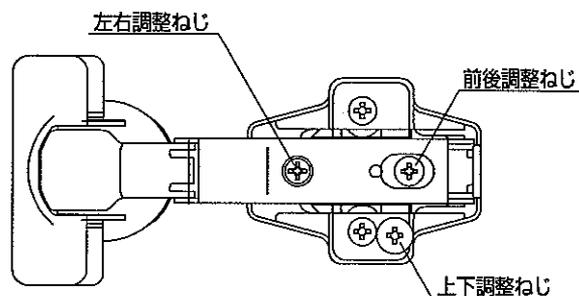
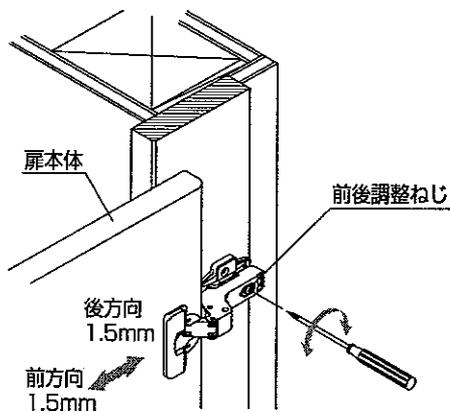


扉本体の建て付け調整

扉間のすき間が合っていない場合

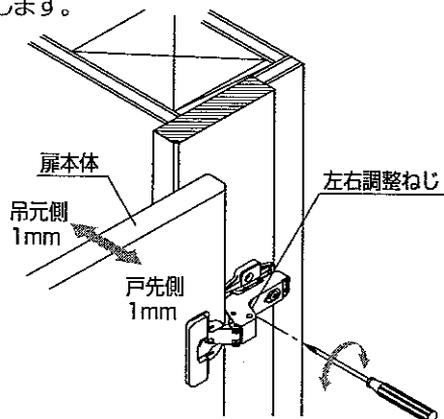
■前後調整

前後調整ねじをゆるめ、扉本体を移動させ、
適当なところで調整ねじを固定してください。



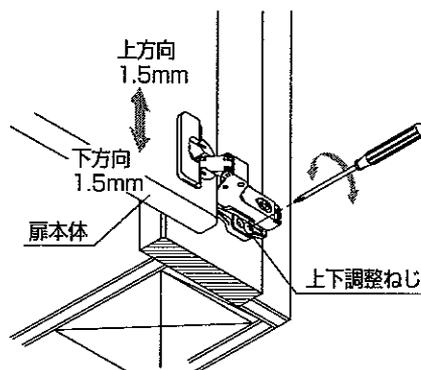
■左右調整

左右調整ねじを右に回すと戸先側へ、左に回すと吊元側へ移動します。



■上下調整

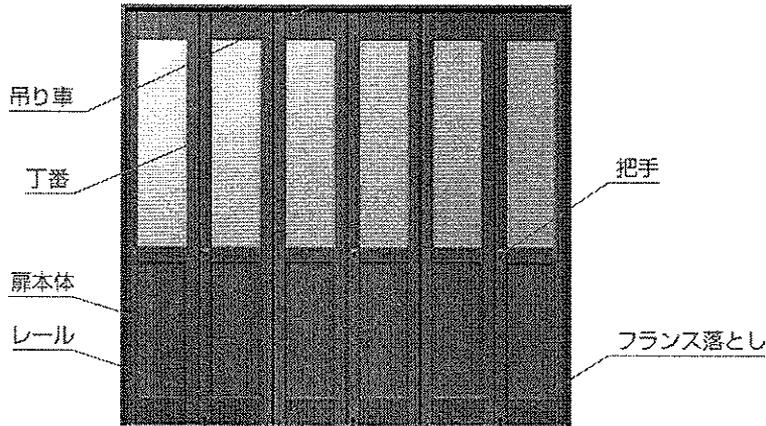
上下調整ねじをゆるめ、扉本体を移動させ、
適当なところで調整ねじを固定してください。



建て付け調整は必ず手まわしドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。

可動間仕切

各部の名称

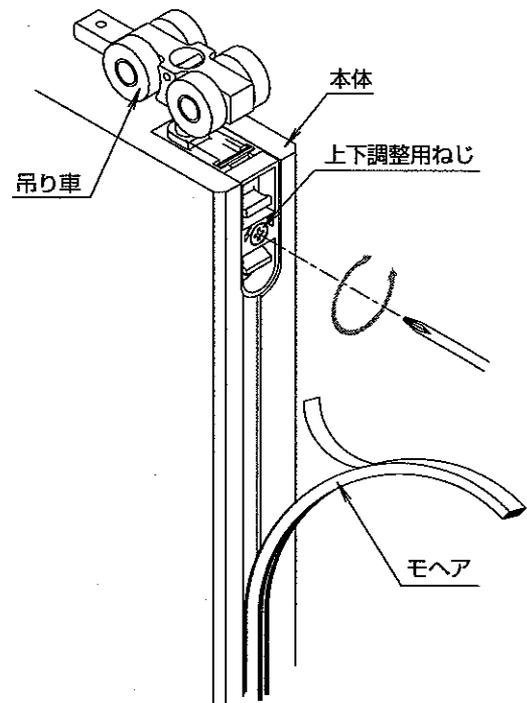
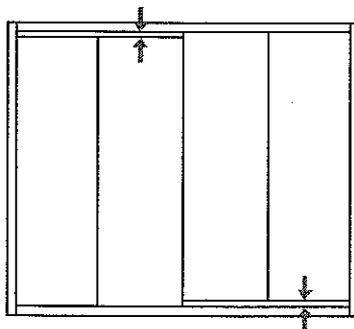


扉本体の建て付け調整

扉間のすき間が合っていない場合

■上下すき間調整

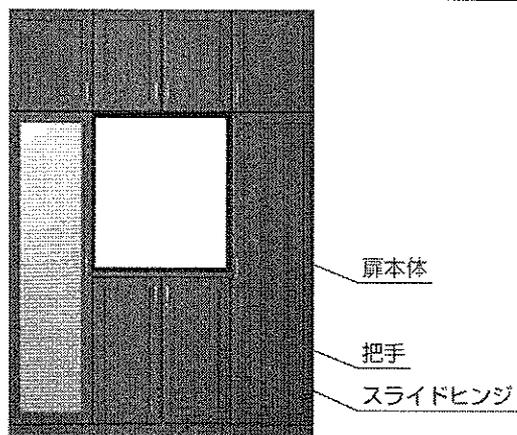
- ①扉本体小口面のモヘアを上下調整ねじが見えるまではがしてください。
- ②吊り車の上下調整ねじを回して調整してください。
 - ・扉を上げる場合
…右にまわす。(時計まわり)
 - ・扉を下げる場合
…左にまわす。(反時計まわり)
- ③上下調整後、モヘアを貼り付け直してください。



商品別使用上のご注意・調整方法

玄関収納

各部の名称

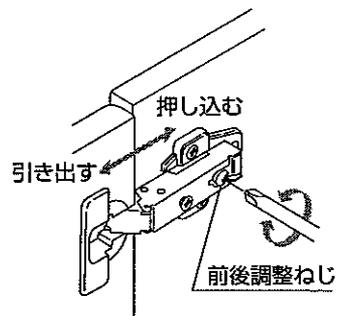
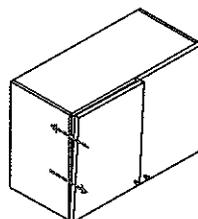


扉の調整

扉間のすき間が合っていない場合

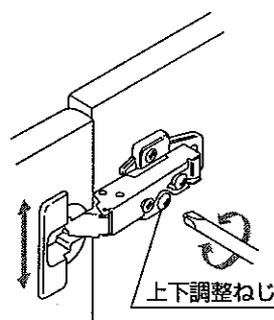
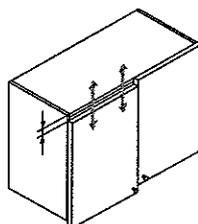
■前後調整: +2mm、-1mm

スライドヒンジの前後調整ねじをまわして調整してください。



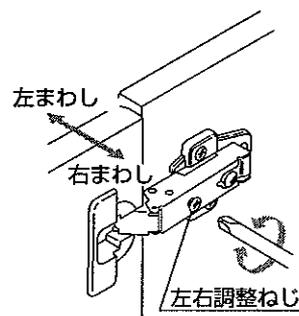
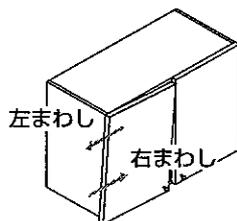
■上下調整: ±1.5mm

丁番ベースの上下調整ねじをまわしてゆるめ、調整後、固定してください。



■左右調整: ±2mm

スライドヒンジの左右調整ねじをまわして調整してください。

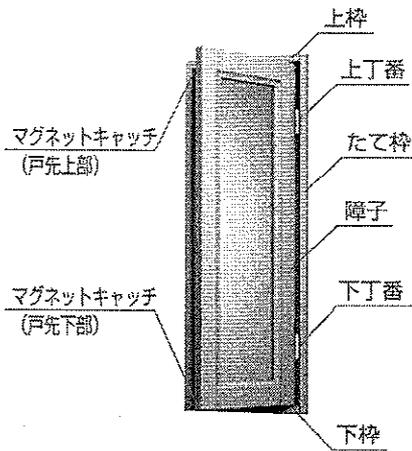


建て付け調整は必ず手まわしドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。

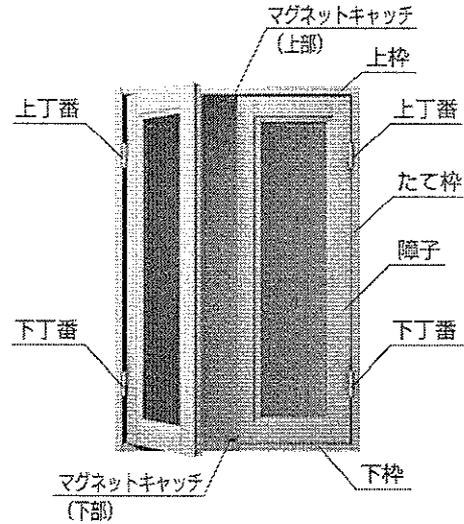
開き窓 室内アクセント

各部の名称

■片開き窓



■両開き窓



障子の建て付け調整

室内アクセント

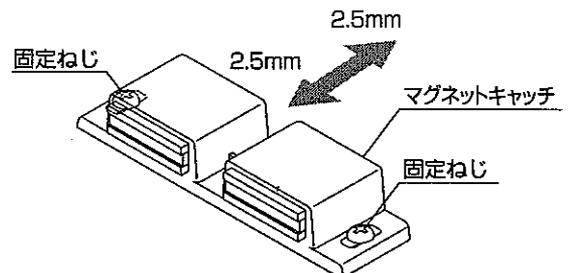
●丁番の調整方法については、(P.7・8)をご参照ください。

障子の戸先部が合わない場合

■戸先出入り寸法調整

障子の戸先部が合わない場合は、戸先上下部のマグネットキャッチの固定ねじをゆるめ、戸先の出入り寸法を調整してください。

※調整後、固定ねじをしっかりと締め込んでください。



お手入れ方法

いつまでも美しく商品をお使いいただくために、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。

木製インテリア建材のお手入れ

■ お手入れ方法

- 日常のお手入れは乾いた柔らかい布または化学雑巾で乾拭きしてください。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭きとってください。汚れがひどい場合でも酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。



建具一般のお手入れ

樹脂板のお手入れ

- ホコリやちょっとした汚れは、柔らかい布かスポンジを使い、中性洗剤で軽く洗った後、固く絞った雑巾で拭き取ってください。落ちにくい目立つ汚れは、ベンジン・シンナーなどは使用せずに、消しゴムで落としてください。



レール(下枠)のお掃除

- ごみがたまらないよう、レールの溝はこまめにお掃除をしてください。扉レールの溝にごみがたまりますと扉の滑らかな走行の妨げとなり、故障の原因となります。掃除機などでこまめに掃除してください。

修理の依頼

●修理の依頼について

長期間、商品をご使用になりますと、ねじのゆるみ、扉のガタつきなどの不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと人身事故や家財の損害などの原因になります。対処方法が本説明書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で処理せず、施工された業者にご相談ください。

商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行なうことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店または当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■対象商品

インテリア建材商品

■保証期間

施工者よりの引き渡し日（注1、注2）から2年間（電装部品については1年間）

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

（注2）分譲住宅（建築住宅）の場合は、建築主様への引き渡しの日とします。

■保証内容

取り扱い説明書、本体ラベルまたはその他注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など）
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ③ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④ 商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）またはこれらに伴うさび、かびまたはその他の不具合
- ⑤ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑥ 商品または部品の材料特性に伴う現象
（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）
- ⑦ 天災、その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
- ⑨ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑩ 引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪ お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取りはずしを含む）に起因する不具合
- ⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*次のような消耗部品は有料となります。

ガラスパッキング、タイト材、モヘア、風止め板、外れ止め、振れ止め、ホールプレート、小口カバー、障子ストッパー、戸当たり、戸車、操作つまみ、雨戸袋ガイド、水抜き具、網戸の網、網押さえロープなどの合成樹脂製部品

*保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

*修理、交換などのアフターメンテナンスに関しては、別に保証書を用意しています。お取り扱いの販売店様、最寄りの当社支店、営業所にお問い合わせください。

*この「商品保証について」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証内容についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

お客様メモ

■ご購入の際、記入しておかれますと便利です。

お取り扱い店

お引き渡し日 (または入居日)	年 月 日
施工店名	社名
	TEL () -
販売店名	社名
	TEL () -
メモ	

■商品についてのお問い合わせ、ご相談は施工・工務店、販売店または、最寄りの当社支店・営業所へお問い合わせください。

新日軽株式会社

本社 / 〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目7番5号
 お客様商品相談室 ☎0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>

札幌住宅建材支店 ☎011(219)7511 中四国住宅建材支店 ☎082(544)4136 東北エクステリア支店 ☎022(771)1343
 東北住宅建材支店 ☎022(771)1321 九州住宅建材支店 ☎092(523)7007 関東エクステリア支店 ☎03(5677)8729
 関信越住宅建材支店 ☎027(328)2881 名古屋東海エクステリア支店 ☎052(731)1920
 関東住宅建材支店 ☎03(3842)7123 大阪エクステリア支店 ☎06(6479)3234
 中部東海住宅建材支店 ☎052(731)1911 中四国エクステリア支店 ☎082(544)4144
 大阪住宅建材支店 ☎06(6390)1331 九州エクステリア支店 ☎092(523)8890

- 電話番号は、移転やその他の理由で変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 品質向上のため予告なしに仕様を変更する場合がありますので、ご了承ください。

第1版 2008年6月

この取り扱い説明書を紛失した場合、再発行いたします。
お気軽に販売店または、お近くの当社支店・営業所へご連絡ください。

取り扱い説明書

保存版

- 商品のご使用前にこの説明書をよくお読みください。
- いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。